

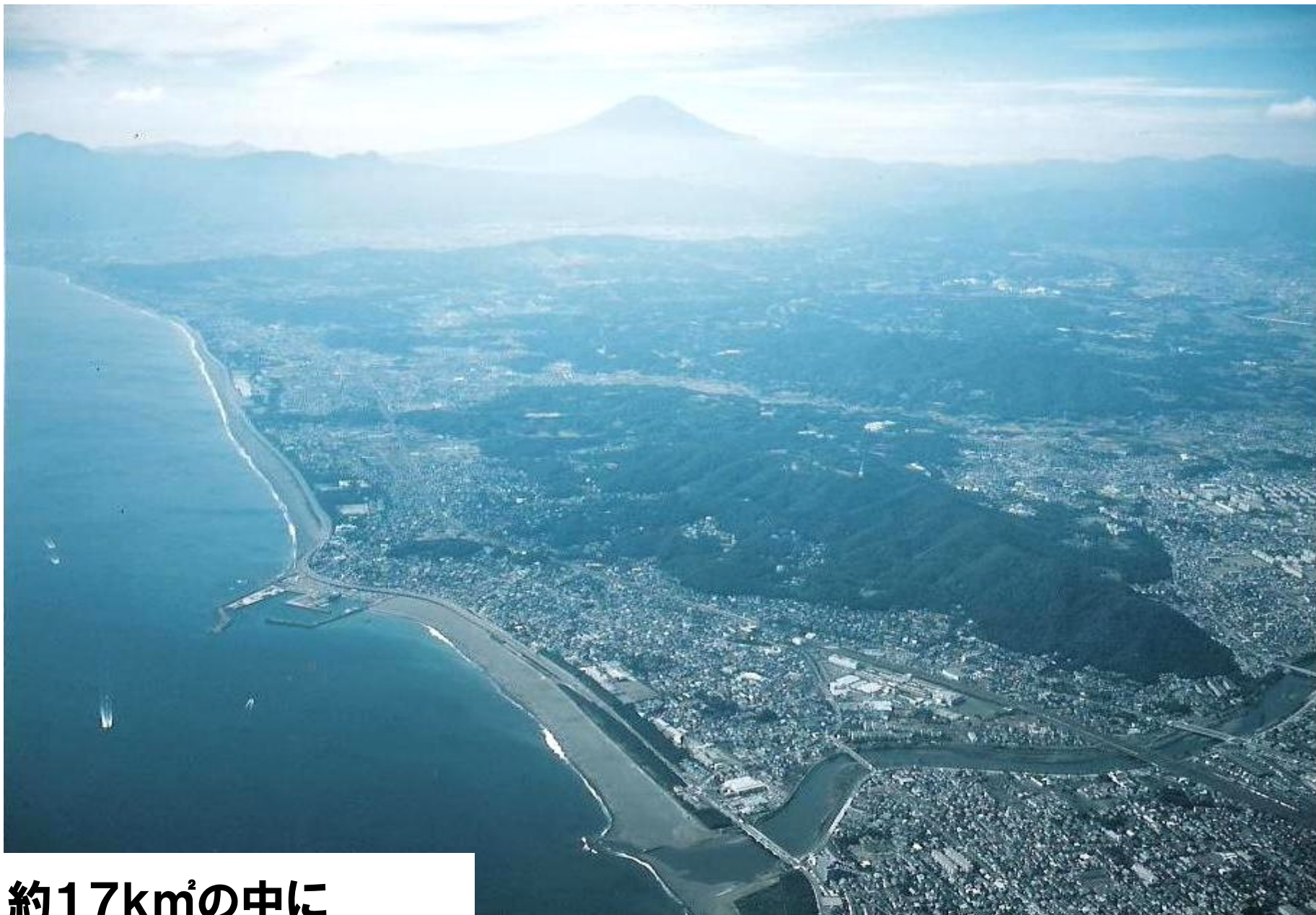
【第13回全国鳥獣被害対策サミット】

地域創造的アプローチによる 鳥獣害対策

～神奈川県大磯町の取り組み～

令和8年2月12日

大磯町産業観光課



約17km²の中に

森・川・海・田畑 と まち・むら がコンパクトに凝縮する町

神奈川県大磯町の概要



電車で

J R 東海道線にて

【所要時間】

【新宿駅から】	新宿→大磯	1時間5分
【東京駅から】	東京→大磯	1時間5分
【横浜駅から】	横浜→大磯	36分
【藤沢駅から】	藤沢→大磯	16分
【小田原駅から】	小田原→大磯	16分



■ 総面積 : 1,718ha

■ 耕地面積 : 261ha

■ 林野面積 : 491ha

■ 総人口 : 約31,000

■ 世帯数 : 約12,000

■ 高齢化率 : 約34%



野生鳥獣の
農業被害・生活被害が
里山とその周辺で発生

イノシシ、ニホンジカ、
ハクビシン、アライグマ、
カラス、ヒヨドリなど

住民主体で 鳥獣を寄せ付けない・増やさない地域づくり

農地 や 里山林 の有効活用・適正管理で
「えさ」と「ひそみ場」を減らす

対策は順番が大事！

- ① まずは、地域みんなで勉強
- ② 農地や地域の環境を改善
- ③ 個人でできる囲い
- ④ 駆除・大規模柵

④から始めると…

「対策は誰かに
やってもらうもの」
と思う人が増えてしまう

元近畿中国四国農業研究センター 井上雅央 氏

みんなで勉強：H27年度から鳥獣対策講習会を実施

座 学

環境点検

実 習

- ①環境整備
- ②圃場管理

話し合い
(ワークショップ)



住民主体で 鳥獣を寄せ付けない・増やさない地域づくり

農地 や 里山林 の有効活用・適正管理で
「えさ」と「ひそみ場」を減らす

対策は順番が大事！

- ① まずは、地域みんなで勉強
- ② 農地や地域の環境を改善
- ③ 個人でできる囲い
- ④ 駆除・大規模柵

被害に向き合うだけでは
負担感だけが募り
地域が疲弊していく



「問題解決」から「価値創造」へ
鳥獣対策をきっかけとして
その先の地域活性化が重要

ここに繋がる価値を創る

④から始めると…

「対策は誰かに
やってもらうもの」
と思う人が増えてしまう

元近畿中国四国農業研究センター 井上 英氏

地域創造的アプローチによる鳥獣害対策

①地域資源の活用

- 農地の活用
- 里山林の活用

②相互にメリットをもたらす連携

- 地域間の連携
- 産官学民の連携

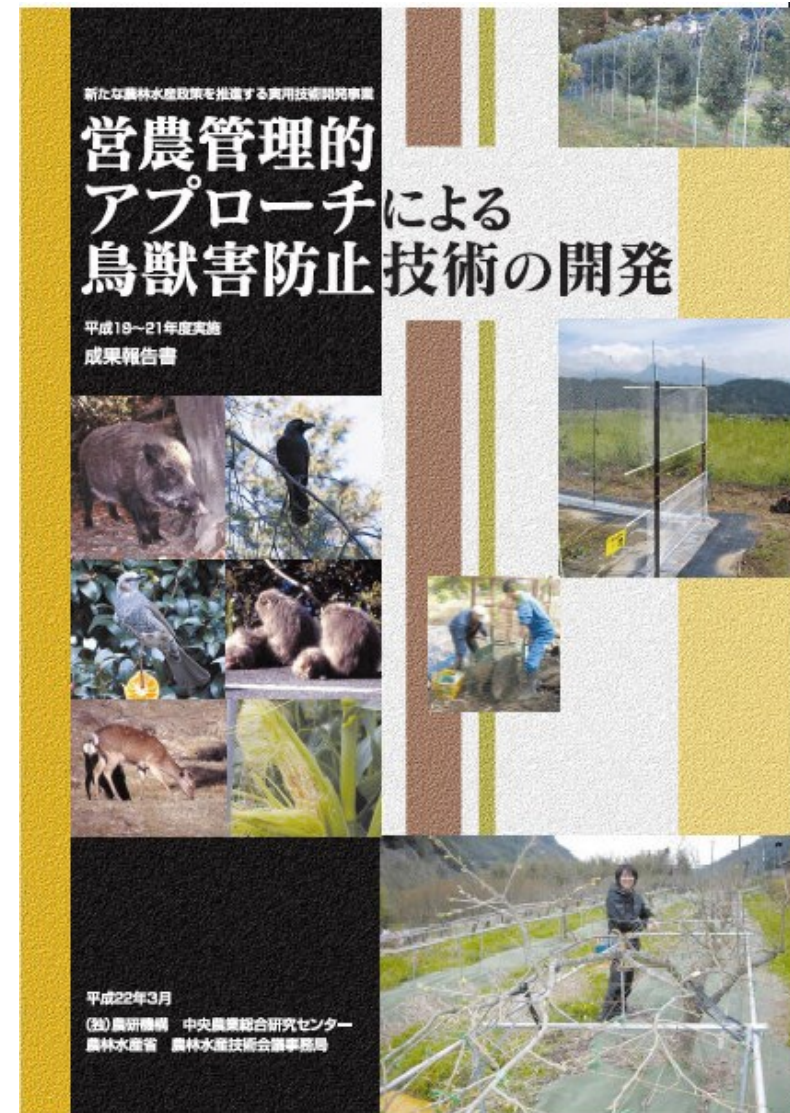
営農管理的アプローチによる鳥獣害防止

【鳥獣害の防止】
防除柵の設置
鳥獣を寄せつけない営農



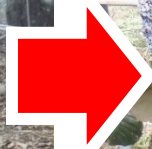
【営農管理の向上】
良品・多収化、収益向上
軽労化、コスト削減など

農研機構 中央農業総合研究センター
新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業
(平成19～21年年度実施)





果樹の低面ネット栽培
腰の高さで、ネットがかけやすい



100歳まで楽しめる農業

- ◆高齢でも、剪定・収穫が楽にできて、良品多収
- ◆無理なく農業を続けられて、健康づくりにも繋がる

大磯の森林の状況

- ◆町面積の約1/3・約500haが森林。
- ◆人工林は1割。その他は広葉樹等の里山林。
- ◆かつては薪炭林として利用。現在はほぼ放置状態。
- ◆町内に森林組合なし。森林管理の担い手不足。

里山林に人手が入らないことで様々な問題が発生

・野生獣の生息域拡大

・林縁部の倒木被害 ・農地の日照悪化 など

自伐型林業＝小さい林業の推進

- ① 広葉樹林の活用
- ② 薪のある町づくり
- ③ 兼業・副業型の林業

◆ 里山林から経済的価値を創出

整備だけではなく、小さくとも経済的価値の創出を目的とする

◆ 町の魅力の向上

都心に近い立地で、自然に密着した仕事に従事できる町

チェーンソー取扱



作業道



里山林を活用する 林業の担い手育成研修

森林環境
譲与税
を活用

伐倒



座学



鳥獣害対策

獣を寄せつけない環境



サラリーマンの週末林業



薪の販売



エネルギーの地産地消



ふるさと納税



木工作家との連携



多様な価値創造

里山の古道を復活する活動

鳥獣害対策

獣を寄せつけ
ない環境づくり

大磯古道山道つなげ隊

大磯を山道でぐるっとつなげたい！

つなげ隊は毎週水曜日に、
大磯の山に入って
活動しています。



山道づくり講習会



多様な価値創造

歩いて楽しいまちづくり

地域創造的アプローチによる鳥獣害対策

①地域資源の活用

- 農地の活用
- 里山林の活用

②相互にメリットをもたらす連携

- 地域間の連携
- 産官学民の連携

大磯町 と 島根県美郷町の 地域活性化に向けた包括的連携 (ビーチ & バレー協定)

美郷町



R3年11月10日協定締結式

- 獣害対策の先進事例として全国から多くの視察が来訪
- 鳥獣被害対策優良活動表彰で農林水産大臣賞(H24年)
- 鳥獣対策をきっかけに地域が活性化
- 鳥獣対策を町の売りにした「美郷バレー構想」を推進

大磯町と島根県美郷町の 地域活性化に向けた包括的連携 (ビーチ&バレー協定)

大 磯

先進的ノウハウや
多様なネットワークを
美郷町から導入

価値創造型の
鳥獣対策の展開

捕獲体制の改革

関係する
産官学民の
活動活性化

大磯産品と
美郷ジビエの
コラボ商品

美 郷

首都圏近郊の
消費地で
美郷産品の
販路拡大

獣害研修の
受入れにより
来訪者の増加

相互の強みを活かした相乗効果

大磯町と島根県美郷町の
地域活性化に向けた包括的連携
(ビーチ&バレー協定)

都市と農村の互恵関係の再生

首都圏
都市近郊



地方
山村地域

相互の強みを活かした相乗効果

大磯高校・麻布大学・大磯町の 人と動物と環境の共生に向けた連携と協力



R7年1月24日
協定締結式

【連携テーマ】鳥獣害対策・環境保全・一次産業振興など

地域活動に参加



野生動物調査

調査報告



センサーカメラ



大学教員から高校生へのレクチャー



加工品開発



地域の課題 × 高大の教育・研究

高校の活動 × 大学の専門性

地域の力 × 若者の活力と発想

獣のひそみ場になる荒廃地の整備



高校・大学の参加で、
初めて夏の整備ができた!!



多様な価値創造

コミュニティ・楽しい場づくり

住民主催の交流会



大磯高校生が美郷町を訪問 麻布大フィールドワークセンターの獣害対策研修を受講

フィールドワークセンター



座学



捕獲見学



モデル圃場見学



高校生が先進地に学んで
地元での活動に活かす

計画発表



獣革クラフト体験



最後に

- 鳥獣害対策を地域の多様な価値と結びつけて「問題解決型」から「価値創造型」へ転換することが必要。
- 多様な価値を創る「人づくり」が重要で、実践的な学びの場の設定が重要。
- そのために必要な3つの役割
ファシリテーター、キュレーター、ネットワーカー



この白菜を作った人
ただ者ではない！

「宝さがし」の集落点検

「アラさがし」では地域をくじけさせてしまう

獣害対策

×

里山活動

×

女性活躍



【主催】大磯町有害鳥獣対策協議会

【問合せ】事務局 大磯町産業観光課

電話：0463-61-4100(内線262)

メール：sangyo@town.oiso.kanagawa.jp

事前申込不要

一日目

令和6年3月16日 土

13:30～16:30

大磯町役場 保健センター2階

第1部 基調講演

「女性がやれば
ずんずん進む獣害対策」

講師 井上 雅央 氏

(元 近畿中国四国農業研究センター
鳥獣害研究チーム長)

第2部 活動発表

「大磯町内の里山活動
～思いがけず!? 獣害対策～」

オダギリ ミホ 氏
(大磯古道山道つなげ隊)

板倉 仁美 氏
(里山をきれいにする会すもあ(薪屋大磯))

石原 和子氏・大西寛美氏・小野一恵氏
(獣害対策 台町地区住民有志)

第3部 パネルディスカッション

二日目

令和6年3月17日 日

小雨決行 9:30～11:30

中尾公園に集合 (東小磯695-6
※裏面地図参照)

現地講習 集落点検 × 里山散策

講師と一緒に里山を散策しながら獣害
対策や里山整備のポイントを学びます。

R6年3月 シンポジウム開催

思いがけず!? 獣害対策

鳥獣害対策を目的にしていな
い活動が、実は対策に繋がっ
ていることに光をあてる



鳥獣害対策に
新たな広がりをつくる

